

ワイヤレス連動型

住宅用火災警報器

取扱説明書

品番 SHK42712K	けむり当番 親器(あかり付)
品番 SHK42712BK	けむり当番 親器(あかり付)(ブラック)
品番 SHK42422K	けむり当番 子器(あかり付)
品番 SHK42422BK	けむり当番 子器(あかり付)(ブラック)
品番 SHK42422YK	けむり当番 子器(あかり付)(和室色)
品番 SHK42128K	ねっ当番 子器
品番 SHK42128BK	ねっ当番 子器(ブラック)

一般家庭用 | 屋内専用**保管用 | 保証書付き****取付説明付き****けむり当番****ねっ当番****壁取付
OK****取り付ける
のに
資格不要****【機器交換お知らせ機能付】**

作動灯が4回点滅したら、警報器の交換時期です。(設置後約10年)

お買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
ご使用前に「安全上のご注意」(👉 6ページ)を必ずお読みください。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を
確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

8A4 B77 00001
M0725-0AB

もくじ

〈よくあるご質問〉

連動ってどういうしくみ？ → 8ページ

.....

火災以外で誤動作してしまう原因は？ → 12ページ

.....

あとから子器を追加したいんだけど → 32ページ

.....

「電波が受信できません。」と鳴るんだけど → 47ページ

.....

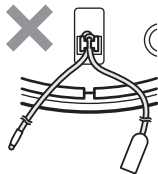
引きひも(別売)を短くしたいんだけど

.....

→ 新しく結び目を作って、引きひもを切ってください。 21ページ

右のような方法では、結び目がすき間に入り
警報停止ボタンが押されたままの状態になります。
警報停止ボタンが押された状態だと、電流が
流れて電池寿命が短くなります。

引きひもの長さを調整した後は、警報停止ボタン
が押せることを確認してください。



Q&A → 75ページ

.....

ワイヤレス連動型住宅用火災警報器についてのさまざまな情報が当社のホームページでも確認できます。

サポートページ（本URLは2025年7月現在のものです）

<https://www2.panasonic.biz/jp/densetsu/ha/residential-fire-alarm/>



もくじ(つづき)

ご使用前

安全上のご注意	6~7
ワイヤレス連動型住宅用火災警報器の特徴	8~9
使用上のご注意	10~13
各部のなまえとはたらき	14~21

取付・登録のしかた

取付場所について	22~27
設置上のご注意	28~29
電池を入れる(親器とすべての子器)	30~31
親器に子器を登録する	32
設置場所を登録する	33
電波確認をする	34~35
取り付けに関する安全上のご注意	36~37
取り付ける	38~41
動作確認をする	42~44

警報が鳴る

「ピュー、ピュー、火事です。火事です。」が鳴ったとき	45～46
「ピッピッ、電波が受信できません。」が鳴ったとき	47～50
「ピッピッピッ、故障です。」が鳴ったとき	51
「ピッ、電池切れです。」が鳴ったとき	52～53

お知らせ

定期点検のしかた	54
お手入れのしかた	55
機器交換のお知らせ(約5分ごとに作動灯が4回点滅したとき)	56～57
使用を中止・交換する場合(登録消去)	58～61
電池交換のしかた	62
廃棄について	62
故障かな?と思ったら	63～67
薄型 と 一般型 を混在して使用する場合	68～74
ワイヤレス連動型住宅用火災警報器のQ&A	75～77
仕様	78～80
保証とアフターサービス	81～83



安全上のご注意 必ずお守りください

ご使用前

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。
(次は図記号の例です。)



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。

⚠ 警告



必ず守る

取り付け・取りはずし・操作時などは足場を確保し、安全に作業できるよう注意する。

守らないと、転倒・落下してケガをするおそれがあります。

電池の挿入や交換、および取付用木ネジの取り扱いは、乳幼児や子供の手の届かない場所で行う。

守らないと、誤飲やケガをするおそれがあります。

⚠ 注意



禁止

本体に耳を近づけて警報音を聞いたり、あかり（白色LED）を直視しない。

聴力障害や目がくらむなどの原因となるおそれがあります。

その他の安全上のご注意についても、本書内の各所に記載してありますので、必ずお読みください。



ワイヤレス連動型住宅用火災警報器の特徴

ご使用前

■[親器][子器]のどちらか1つが火災(煙または熱)を検知すると、家の中すべての警報器から音声でお知らせ！

- 設置場所を登録(☞ 33ページ)することで、火元以外の警報器から火元の設置場所名称を鳴らすことができます。

■ワイヤレスなので、配線工事不要

■親器1台に子器14台まで登録可能

- ご使用前に子器を親器に登録する操作が必要です。(☞ 32ページ)
- 1住戸に1システムでご使用ください。

■電池寿命約10年

- お客様のご使用環境により短くなる場合があります。



■AiSEG2またはAiSEG3と連携可能

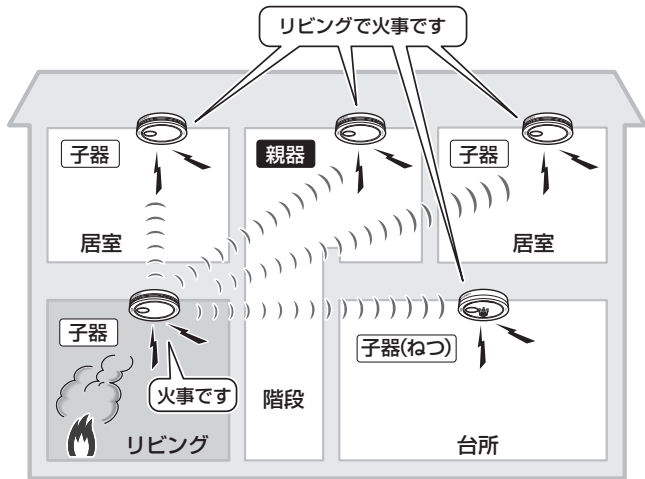
- AiSEG2またはAiSEG3(別売)に親器を登録すると、AiSEG2またはAiSEG3の画面で火災警報や親器・子器の作動状態を表示させることができます。
- 登録方法などについては、「連携操作ガイド」を確認してください。

〈閲覧用アドレス〉

https://www2.panasonic.biz/jp/ai/products/search/manual/index.jsp?item_no=SHK42712K&srcd=SJSB



〈設置場所名称を「リビング」に設定した場合〉





使用上のご注意

ご使用前

- この商品は煙または熱を検知して警報する機能をもっていますが、火災の防止器ではありません。火災などによる損害については責任を負い兼ねますのでご了承ください。

- この商品は、法律(消防法9条2)で住宅への設置および維持について義務付けられています。

維持管理のために、6カ月ごとに1回以上定期点検を行ってください。

👉 54ページ

- 消防法に規定された「自動火災報知設備」には代用できません。

- この商品は電波法で認められた「小電力セキュリティシステムの無線局」です。

- 親器あるいは子器だけで使用することはできません。親器と子器は組み合わせてご使用ください。(親器は1台必要です。2台以上は使用できません。)

- 一般型の住宅用火災警報器とも連動できます。 (「薄型」と「一般型」を混在して使用する場合👉 68ページ)

- 隣家に設置されていても混信することはありません。

- 1週間以上留守にされた場合は、留守中に電池切れとなっている可能性があるため、帰宅後に動作確認を行ってください。

👉 42ページ

- ねつ当番の場合、ライターなどの直火で熱検知部を温めないでください。



くん煙式の殺虫剤(煙や蒸気を出すタイプ)を使用する場合

けむり当番の場合、殺虫剤(くん煙殺虫剤・加熱蒸散殺虫剤を含む)を使用する場合は、火災警報動作をするおそれがありますので本体をはずして(👉 55ページ)殺虫剤がかからない所に置いてください。使用後は換気をして、本体を取り付けてください。





使用上のご注意(つづき)

ご使用前

火災ではないのに火災警報音が鳴るときの対処方法

けむり当番の場合、ホコリや虫(クモなど)が入ると火災警報することがあります。掃除機で吸い取ると、警報動作は止まります。



- 掃除機で吸い取りを行った後は、必ず正常に動作することを確認してください。☞ 42ページ
- 吸い取った後も警報音が鳴る場合は、販売店やご相談窓口へご連絡ください。



警報停止ボタンを押す。



警報停止
ボタン

約5分間、
警報音停止

⚠ 警告

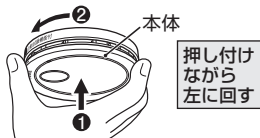


必ず守る

取り付け・取りはずし・操作時などは足場を確保し、安全に作業できるように注意する。

守らないと、転倒・落下してケガをするおそれがあります。

2 本体を取りはずす。



3 5分以内に掃除機で吸い取る。



- 煙検知部を掃除機で2周以上吸い取ると効果的です。

ホコリや虫以外でも下記のような場合に火災警報することがあります。

警報を止めるには、十分に換気を行ってください。

<けむり当番>

- くん煙式・加熱蒸散式の殺虫剤を使用した
- 殺虫剤や化粧品などのスプレーが直接かかった
- タバコの煙を直接吹きかけた
- 調理の煙や炊飯器、加湿器などの蒸気などがかった
- 結露した

<ねっ当番>

- レンジ・エアコン・ストーブなどの熱を検知した



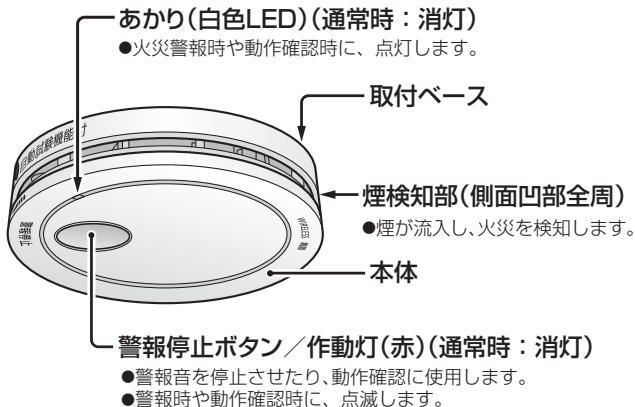
各部のなまえとはたらき

ご使用前

けむり当番

親器 (SHK42712K・SHK42712BK)・

子器 (SHK42422K・SHK42422BK・SHK42422YK)



●取付ベースをはずした図（はずし方 30ページ）

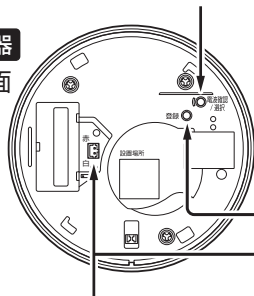
電波確認/選択ボタン

- 電波確認、および設定モードを選択するときに使用します。

選択ボタン

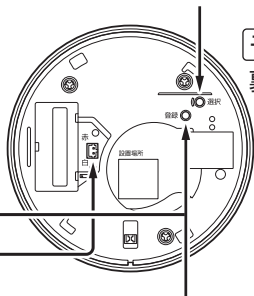
- 設定モードを選択するときに使用します。

親器
裏面



専用リチウム電池
接続用コネクタ

子器
裏面



登録ボタン

- 登録や登録消去時に使用します。

ご使用前

取付・登録のしかた

警報が鳴る

お知らせ



各部のなまえとはたらき(つづき)

ねつ当番

子器(SHK42128K・SHK42128BK)

警報停止ボタン／作動灯(赤)(通常時：消灯)

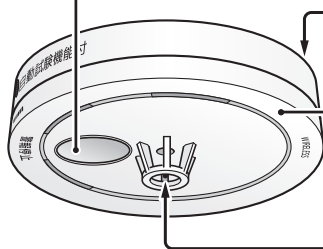
- 警報音を停止させたり、動作確認に使用します。
- 警報時や動作確認時に、点滅します。

取付ベース

本体

熱検知部

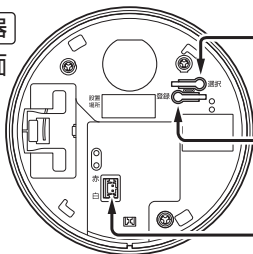
- 熱(65℃)を検知します。



●取付ベースをはずした図（はずし方 30ページ）

子器

裏面



選択ボタン

- 設定モードを選択するときに使用します。

登録ボタン

- 登録や登録消去時に使用します。

専用リチウム電池
接続用コネクタ

㊞マークについて

- けむり当番・ねつ当番は、総務省の技術基準に適合しています。商品に貼り付けられている表示(㊞マーク)は、その証明マークです。表示マークの貼り付けられている商品は総務大臣の許可無しに改造して使用することはできません。

改造すると法律により罰せられることがあります。



各部のなまえとはたらき(つづき)

ご使用前

付属品

- 取付用木ネジ
(3.7×25 mm) 2本



- 取扱説明書(保証書付き)
(本書) 1冊
- かんたん準備ガイド 1枚

- 専用リチウム電池 1コ



透明フィルム
をはがさない。



電池について

専用リチウム電池品番：SH384552520

警告



必ず守る

電池の挿入や交換は、乳幼児の手の届かない場所で行う。 守らないと、誤飲のおそれがあります。



- 透明フィルムは、専用リチウム電池を保護するものです。絶対にはがさないでください。
- 電波ノイズが多い場所では、電池の消耗が早くなります。

- 電池寿命は約10年を想定していますが、お客様のご使用環境により短くなる場合があります。なお、電池交換後は正常に動作することを確認してください。

 42ページ



各部のなまえとはたらき(つづき)

ご使用
前

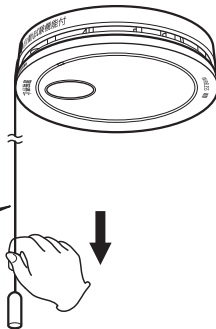
引きひも(別売)について

警報停止ボタンを押す代わりに別売の「引きひも」を取り付けて操作することができます。手の届きにくい位置に警報器を取り付ける場合などは、販売店またはハイ・パーツショップ(158ページ)で別途お買い求めください。

品番：SH8894(長さ約80 cm/1コ入り)

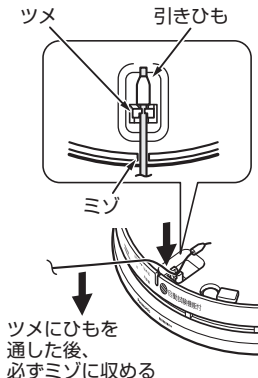
引きひもを引くと、警報音を停止させたり動作確認ができます。

引きひも(別売)

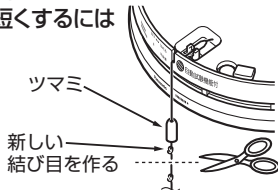


引きひもの取り付けや取りはずしは、本体を取付ベースから取りはずしてから(30、55ページ)、以下のように行ってください。

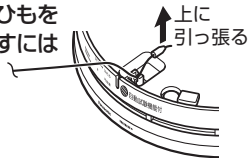
●引きひもを取り付けるには



●引きひもを短くするには



●引きひもをはずすには



●注 本体を取り付けるときは、引きひもがミゾに正しく収まっていることを確認してください。取り付け後、引きひもが正しく動作しなかったり、本体を取りはずすことができなくなります。



取付場所について

取付・登録のしかた

設置が必要な場所

火災警報器の種類

全地域で必ず
取り付けが必要な場所

寝室

普段の就寝に使う
部屋。子供部屋・高
齢者の居室を含む。



けむり当番
(煙式)

階段

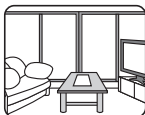
寝室がある階の階
段最上部。



けむり当番
(煙式)

居室

リビングなど寝室
以外の部屋。



けむり当番
(煙式)

台所



けむり当番
(煙式)

または

ねつ当番
(熱式)

市町村条例によっては
取り付けが必要になる場所

設置が必要な場所	火災警報器の種類
条件によっては 必要になる場所 廊下 警報器を設置する必要がなかった階で、就寝に使用しない居室(床面積が7 m²以上)が5以上ある階の廊下。   けむり当番 (煙式)	



設置および維持基準については、政省令で定める基準にしたがい、市町村条例で定められています。詳しい設置場所は、当社のホームページ上でも確認できます。(URL  3ページ)

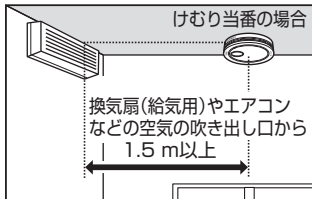
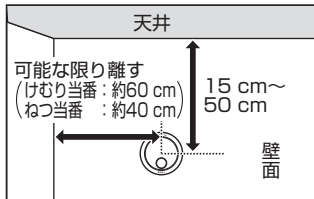
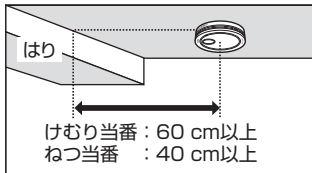
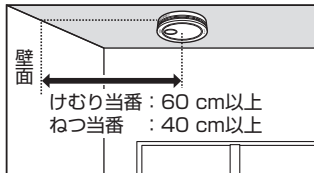


取付場所について(つづき)

取付位置

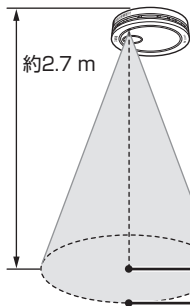
本体の中心から以下の距離を確保してください。
誤動作や故障、または検知が遅れる原因となります。

取付・登録のしかた



●階段や廊下などで上記の条件に則した設置が困難な場合は、所轄消防署にご相談ください。

あかり(白色LED)の明るさについて(けむり当番のみ)



シーリングライトなどで光を遮らないようにしてください。

吹き抜けなど高い天井に設置すると、下記の照度を確保できない場合があります。



〈点灯時の床面の明るさ〉

直下：約0.2 lx

直径1 m以内：約0.04 lx

ご使用前

取付・登録のしかた

警報が鳴る

お知らせ



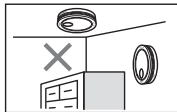
取付場所について(つづき)

取り付けできない位置

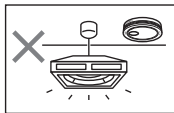
〈けむり当番の場合〉

- 調理など火災ではない煙、蒸気などのかかる場所
- 取付位置の温度が0℃を下まわる、あるいは40℃を超える場所
電池電圧が低下して電池切れ警報動作をしたり、正常に動作しないおそれがあります。
- 屋外・屋側(軒先など)
- 浴室内や水がかかる場所・水滴のつく場所

- タンスなどの真上および近く
60 cm以上離してください。

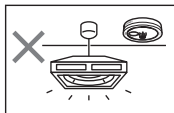


- 照明器具の真上および近く
煙が照明器具に遮られるため、可能な限り(約50 cm)離してください。



〈ねつ当番の場合〉

- 食器洗い乾燥機や炊飯器などの蒸気のかかる場所
- 取付位置の温度が0℃を下まわる、あるいは40℃を超える場所
電池電圧が低下して電池切れ警報動作をしたり、正常に動作しないおそれがあります。
- 照明器具の真上および近く
熱が照明器具に遮られるため、可能な限り(約50 cm)離してください。
- 屋外・屋側(軒先など)
- 煙突の近く、レンジ、ストーブなどの真上および近く
- 冷暖房器具の気流があたる場所
- 階段・廊下
- 倉庫など直射日光により温度上昇のはげしい場所
- 浴室内や水がかかる場所・水滴のつく場所





設置上のご注意

- 絶対に分解・改造しないでください。また、落下させたり衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- キズをつけたり、ペンキなどで塗装しないでください。
- 親器と子器との電波到達距離は、障害物のない場所での水平見通し距離約100 mです。
- 下記のような使用環境では、電波ノイズを受けたり電波の到達距離が短くなります。このような場合は動作しないことがあります。
 - 機器間に金属や鉄筋コンクリートなどの電波を通しにくい障壁がある。
 - 機器間にある天井面・壁面内の断熱材にアルミ箔を貼り付けたグラスウールを使用している。
 - 機器の周辺が金属物で囲まれている（スチールキャビネットの間など）。
 - 金属物の天井面・壁面に機器を取り付けている。
 - 電子レンジやパソコンなどの家庭用電気製品やOA機器が機器の1 m以内にある。
 - 機器の近くで、直流電圧で駆動するベルやモーターなどの機器が動作している。
 - 機器の近くで、携帯電話やPHS電話を使用している。
 - 機器の近く（10 m以内）で、マイクロ波治療器などを使用している。
 - 近くに、テレビ・ラジオの送信所近辺の強電界地域または各種無線局がある。

- 到達範囲内でも電波の特性により電波が弱くなる場所がありますので注意してください。
- 電波が届きやすくするため、親器はすべての警報器の中央になる位置に設置してください。(☞ 35ページ)
- 親器・子器はAC100 V機器およびその電源線から20 cm以上離して設置してください。近すぎると正常に動作しない場合があります。
- 送信電波が医用電気機器に与える影響はきわめて少ないものですが、安全管理のため親器と子器は医用電気機器から20 cm以上離して使用してください。
- 24～27ページにしたがって正しい位置に取り付けてください。また、移動させた場合は必ず動作確認(☞ 42ページ)を行ってください。

正しく設置しないと、火災警報動作が遅れる原因となります。

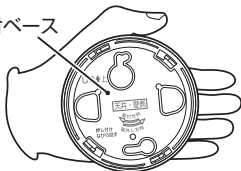


電池を入れる(親器とすべての子器)

1. 取付ベースをはずす。

手のひらにのせて

取付ベース



押し付けながら回す

右手



2. 設置年月と設置場所を記入する。

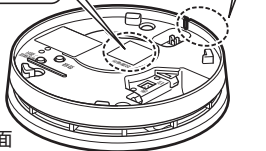
設置場所



油性ペンで
記入

設置
年 月

油性ペンで記入



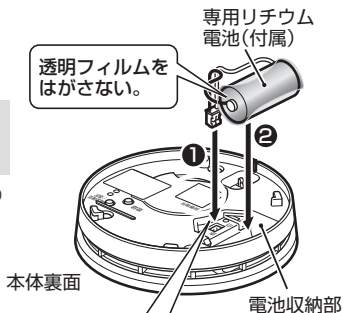
本体裏面

3. 専用リチウム電池 (付属)を入れる。

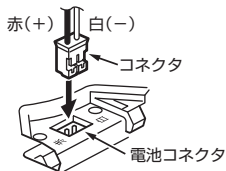


コネクタの接続に工具は
使用しないでください。

- 取付ベースをはずしたまま次の
手順に進んでください。



- リード線の赤(+) 白(-)の向きを確認
して、奥まで確実に
差し込む。





親器に子器を登録する

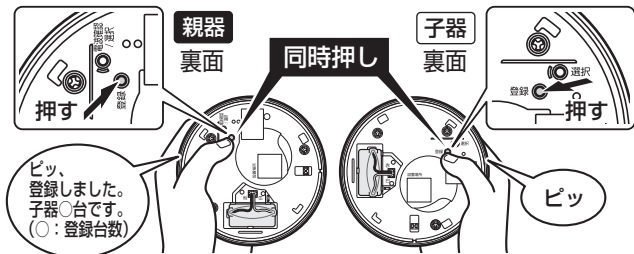
必ず親器に子器を登録してください。



あとから子器を増設する場合、親器を取りはずして(55ページ)登録してください。すでに使用中の子器を再登録する必要はありません。

1. 親器と子器の登録ボタンを同時に押す。

- 親器の作動灯が点滅します。
- 「ピッ、登録しました。」が鳴ると、登録完了です。
- 親器から登録台数をメッセージでお知らせします。
- 登録できる子器の台数(14台)を超えて登録すると「ピッ、登録できません。」と鳴ります。



2. 2台以上の子器を登録する場合は、登録する子器ごとに手順1をくり返す。



設置場所を登録する

親器・子器を設置する場所名称を登録すると、火災警報時のメッセージで火元をお知らせすることができます。



- 親器・子器それぞれで登録が必要です。
- 何も操作しない状態が約1分続くと、「ピッピッ、設定モードを終了します。」と鳴り、待機状態に戻ります。

1. 選択ボタンを押しながら3秒以内に登録ボタンを押す。

- 親器は電波確認/選択ボタン、子器は選択ボタンとなります。
- 「ピッピッ、設置場所登録モードです。〇〇が登録されています。」が鳴り、現在登録されている設置場所名称をお知らせします。
- 設置場所登録モード中は作動灯が点滅します。



2. 選択ボタンを押す。

- 押すたびに設置場所名称が鳴動します。設定したい設置場所名称を鳴動させてください。
- 〈登録されている場所名称〉

他の部屋→1階→2階→3階→寝室→階段→台所→リビング→子供部屋→和室
(初期設定)

↑ 地下 ← 和室2 ← 和室1 ← 子供部屋2 ← 子供部屋1 ← 寝室3 ← 寝室2 ← 寝室1

3. 登録ボタンを押す。

- 「ピッ、〇〇登録しました。」が鳴ります。

ご使用前

取付・登録のしかた

警報が鳴る

お知らせ



電波確認をする

1. 親器と子器をそれぞれ設置する場所の真下(床)に置く。

2. 親器の電波確認/選択ボタンを押す。

親器
裏面

ピッ、
テスト中
です。



➡ 親器から「ピッ、テスト中です」が数回鳴り、その後、各警報器から電波確認結果を約1分間お知らせします。

- 親器は最初に登録台数をメッセージでお知らせします。
- 電波確認中は各警報器の作動灯が点滅します。
- いずれかの警報器の警報停止ボタンを押すと、メッセージは止まります。

〈異常時〉

- ビッピッ、……
電波が受信できません。
(電波が弱い場合)

子器のみ

- 無音(電波がまったく届いていない場合)

〈正常時〉
ピッ、電波
チェック
正常です。



警報停止
ボタン



注 AiSEG2またはAiSEG3との電波確認はできません。
「連携操作ガイド」(P.8ページ)を参照してください。

対処方法



1. 警報停止ボタンを押して、音を止めてください。
2. 約30秒後に再度、電波確認/選択ボタンを押してください。
3. それでも届かない場合は、以下の項目をチェックしてください。
4. 対処した後、再度、電波確認/選択ボタンを押してください。

親器の配置場所が適切ですか？

親器がすべての警報器の中央になるように配置を変更する
親器は電波を中継する役割をもっているため、電波が届きやすくなります。



家庭用電気製品やOA機器（パソコンなど）の電波ノイズの影響を受けていませんか？

使用環境を確認して影響する機器を移動する
電波ノイズを受けると電波が受信できません。

親器と子器が離れすぎていませんか？

親器と子器の設置場所を近づける
電波到達距離は障害物のない場所での水平見通し距離で約100 mです。
(使用環境によっては距離が短くなる場合があります。)



取り付けに関する安全上のご注意

⚠ 警告



必ず守る

取り付け・取りはずし・操作時などは足場を確保し、安全に作業できるよう注意する。
守らないと、転倒・落下してケガをするおそれがあります。

取付用木ネジの取扱いには乳幼児や子供の手の届かない場所で行う。
守らないと、誤飲やケガをするおそれがあります。

⚠ 注意

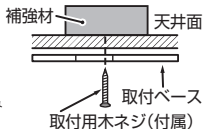


必ず守る

付属の取付用木ネジを使用して確実に取り付ける。
両面テープなどで取り付けると、商品が落下し、ケガや他の物品を破損するおそれがあります。

天井面または壁面の野縁※など補強材のある位置に取り付ける。
ベニヤ板などの薄い天井材や柔らかい天井材は、あらかじめ補強を行う。
商品が落下し、ケガや他の物品を破損するおそれがあります。

※野縁：天井などを張るため下地の骨組みとなる細長い角材



⚠ 注意



禁止

天井面に取り付ける場合は、
取付ベースの真下で取付作業をしない。

ネジの締め付け時に天井材のくずが目に入るおそれがあります。目に入った場合は、ただちに洗い流してください。



注

- 石こうボードに取り付ける場合は、石こうボードのくずが落下するため、床に敷物などを敷いて作業してください。
- 補強材のない石こうボードの天井や壁に取り付ける場合
☞ 41ページ
- 取付場所がコンクリートの場合は、販売店や専門業者にご依頼ください。



取り付ける



- 専用リチウム電池のリード線をはさみ込まないように注意してください。
- 取り付け後、天井面や壁面に対して本体が傾いていないことを確認してください。傾いている場合は、本体の取付ベースへの取り付けをやり直してください。落下するおそれがあります。

天井面に取り付ける場合

1. 取付ベースを取付用木ネジで取り付ける。

両面テープによる
取付禁止

この位置で
ネジ止め

取付ピッチ 66.7 mm

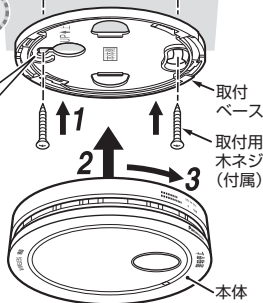
取付ベースを天井面に
あてて、ネジ止める位置
を記入すると便利です。

取付
ベース
取付用
木ネジ
(付属)

2. 本体を取付ベースにはめる。

3. 「カチン」と音がする 位置まで右に回す。

本体が取付ベースに固定されます。



壁面に取り付ける場合

取付ベースを壁面にあてて、ネジ止めする位置を記入すると便利です。

取付ピッチ66.7 mm

取付ベース

両面テープによる取付禁止

この位置で
ネジ止め

“UP ↑上”マークを上にする

取付用
木ネジ(付属)

本体

ボタンが下

1. 取付ベースを取付用木ネジで取り付ける。
2. 本体を取付ベースにはめる。
3. 「カチン」と音がする位置まで右に回す。
本体が取付ベースに固定されます。

ご使用前

取付・登録のしかた

警報が鳴る

お知らせ



取り付ける(つづき)

壁掛けの場合

(取付用木ネジ1本に引っ掛ける)

⚠ 注意



必ず守る

壁掛け取り付けする場合は、引きひも(別売)は使用しない。
引きひもを引っ張ることで本体が落下し、商品が破損
したり、ケガをするおそれがあります。

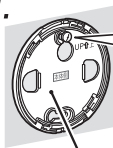
取付・登録のしかた

1. 取付ベースを取付用木ネジで取り付ける。

手順2で取付ベースを取りはずしますので、強く締め付ける必要はありません。

取付ベースと取付用木ネジのネジ頭部分のすき間がない程度に締め付けてください。

1.



取付ベース

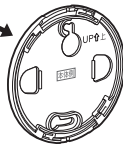
この位置で
ネジ止め



2. 取付ベースを取りはずす。

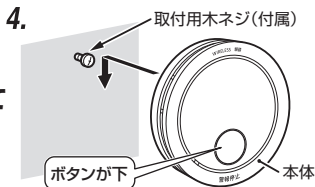
3. 取付ベースを本体にはめ、「カチン」と音がする位置まで右に回す。

2.



4. 本体を取付用木ネジに
引っ掛ける。

5. 本体が確実に引っ掛かって
いることを確認する。



石こうボードに取り付ける場合

市販の石こうボード用プラグ(ネジ径：3.5 mm対応)を
お使いください

⚠ 注意



必ず守る

石こうボードの天井に取り付ける場合は、引きひも
(別売)は使用しない。
引きひもを引っ張ることで本体が落下し、商品が破損
したり、ケガをするおそれがあります。



不明な点は販売店や専門業者、およびご相談窓口にご相談くだ
さい。



動作確認をする

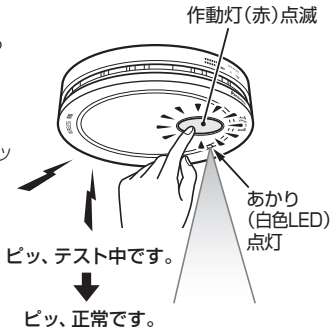
取付後などは、必ず正常に動作することを確認してください。

1. 警報停止ボタンを約1秒間押す。

➡ 「ピッ、テスト中です。」が数回鳴り、その後、各警報器からテスト結果を約1分間お知らせします。

👉 **テスト結果** 43ページ

- 親器は最初に登録台数をメッセージでお知らせします。
- 動作確認中は各警報器の作動灯が点滅、あかり（白色LED）が点灯します。
- いずれかの警報器の警報停止ボタンを押すと、メッセージは止まります。



- すべての警報器で「ピッ、正常です。」と鳴ることを確認してください。すべての警報器の確認が終わる前に鳴動停止した場合は、警報停止ボタンを約1秒間押して動作確認を続けてください。
- AiSEG2またはAiSEG3との電波確認もできます。「連携操作ガイド」(👉 8ページ)を参照してください。

■火災警報音を鳴らして確認することもできます

- ① 警報停止ボタンを3秒以上押し続ける。
→その警報器から「ピッ、テスト中です。」が鳴った後、「ピュー、ピュー、火事です。火事です。」が鳴り、他の警報器から「ピュー、ピュー、他の部屋(※)で火事です。」が鳴れば、正常な動作です。
※：設置場所を登録している場合は、設置場所名称が鳴ります。
(☞ 33ページ)
- ② 警報音を止めるときは、警報停止ボタンを離す。
→音が止まります。

テスト結果

メッセージ内容	処置方法
子器○台です。 ピッ、正常です。 (○：登録台数)(親器)	正常です。このままご使用になれます。
ピッ、正常です。(子器)	
ピッ、電池切れです。	電池切れが近くなっています。 該当する警報器の専用リチウム電池を交換してください。(☞ 62ページ)



動作確認をする(つづき)

テスト結果(つづき)

メッセージ内容	処置方法
ピッピッ、電波が受信できません。	家庭用電気製品やOA機器(パソコンなど)といった、電波ノイズの影響を与えている可能性のある機器を移動させてください。部屋のレイアウトを変えた場合などは設置環境を再度確認してください。P.47ページ
ピッピッピッ、故障です。	故障しています。販売店またはご相談窓口にご相談いただき、すみやかに交換してください。
何もメッセージが鳴らない。	専用リチウム電池がはずれている可能性があります。専用リチウム電池のコネクタを確認してください。差し込まれている場合は、完全に電池が切れているか、商品が故障している可能性があります。販売店またはご相談窓口にご相談ください。

これで準備は
終了です!

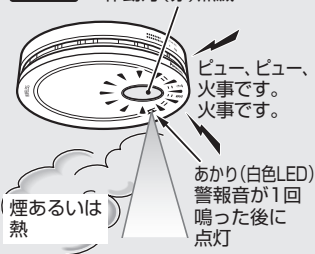




「ピュー、ピュー、火事です。火事です。」が鳴ったとき

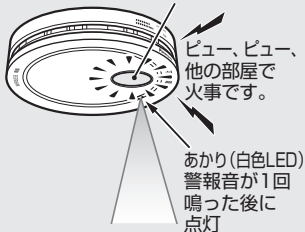
火元

作動灯(赤)点滅



火元以外

作動灯(赤)小刻みに点滅をくり返す



- 煙検知部の煙がなくなる、あるいは熱検知部の温度が低くなれば、火災警報動作は止まり、通常の状態に戻ります。
- 設置場所を登録している場合(☞33ページ)は、火元以外の警報器からは設置場所名称が鳴ります。(出荷時は「他の部屋」に設定されています。)

火元を確認し、避難してから119番に通報するなど適切な処置をする。



「ピュー、ピュー、火事です。火事です。」が鳴ったとき(つづき)

警報音を止めるには

警報停止ボタンを押す。

→約5分間、警報音が一斉に停止し、作動灯とあかり(白色LED)が
消灯します。

- 火元以外の警報器で操作した場合、火元の警報器の警報は止まりません。
この場合、ねつ当番以外のすべての警報器のあかり(白色LED)は点灯し
続けます。
- 約5分後にも煙あるいは熱を検知すると、再び警報動作が始まります。



- 煙がなくなる、あるいは熱がなくなるまで警報動作を繰り返します。
- 火元では警報音停止中に火災が発生しても警報が鳴りません。
ただし火元以外では、警報音停止中であっても火災が発生す
ると警報します。
- 火災以外でも蒸気やホコリ、虫などで警報することがあります。
換気や掃除機による吸い取りなどで原因を取り除くと、
警報動作は止まります。☞ 12ページ
- AiSEG2またはAiSEG3の画面で火災をお知らせすることが
できます。「連携操作ガイド」(☞ 8ページ)を参照してください。



「ピッピッ、電波が受信できません。」が鳴ったとき

作動灯(赤)点滅
(約8秒ごと)



ピッピッ、電波が受信できません。
(3回)

約40秒ごとに「ピッピッ」

約1時間後

- 親器が電池切れ状態になると、「ピッピッ、電波が受信できません。ピッピッ、親器を確認してください。」と鳴ります。

次ページにしたがって対処する。

■自動電波確認

警報器は、親器と子器間の電波が届くかどうかを確認するために約1日に1回、自動的に電波確認を行います。

異常があった警報器で上図のように警報します。親器に異常があった場合は、すべての警報器で警報します。

次ページにつづく

ご使用前

取付・登録のしかた

警報が鳴る

お知らせ



「ピッピッ、電波が受信できません。」が鳴ったとき(つづき)

警報音を止めるには

警報停止ボタンを押す。

→「ピッピッ、電波が受信できません。」が3回鳴り、メッセージが止まります。

- 作動灯は約8秒ごとに点滅を続けます。
- 電波異常のままの状態であった場合は、0(直後)～24時間以内に再び警報が鳴ります。

■対処方法

以前は使用していたが、
現在、電池をはずして
使っていない子器が
ありませんか？



使用していない子器の登録を
個別消去してください。

👉 60ページ
使用していない子器の登録は消去
する必要があります。

故障などで子器を交換
しましたか？



子器を交換した場合は、親器で
登録を全消去した後(👉 58
ページ)、使用する子器のみ再
登録してください。

親器を使用していますか？



親器は必ず使用してください。

親器を使用しているのにすべての子器から「ピッピッ、電波が受信できません。」と鳴る場合は、親器が故障の可能性があります。販売店またはご相談窓口にご相談いただき、すみやかに親器を交換し、使用する子器を再登録してください。

家庭用電気製品やOA機器(パソコンなど)の電波ノイズの影響を受けていませんか？



使用環境を確認して、影響している機器を移動させてください。

電波ノイズを受けている場合は、電波が受信できません。部屋のレイアウトを変えた場合などは設置環境を確認してください。

親器と子器が離れすぎていませんか？



親器と子器の設置場所を近づけてください。

電波到達距離は障害物のない場所での水平見通し距離で約100 mです。
(使用環境によっては距離が短くなる場合があります。)



「ピッピッ、電波が受信できません。」が鳴ったとき(つづき)

■対処方法(つづき)

親器の電池が
消耗していませんか？



専用リチウム電池を交換して
ください。

 62ページ

留守の間に電池切れが
起こっていませんか？



動作確認( 42ページ)を行
い、メッセージが鳴らない警
報器を特定してください。特
定した警報器の専用リチウム
電池を交換してください。

 62ページ

すべてに当てはまらない場合は、親器で登録を全消去
( 58ページ)した後、使用する子器のみ再登録してください。

それでも解消されない場合

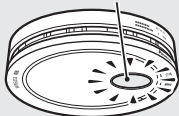


販売店やご相談窓口へお問い合わせください。



「ピッピッピッ、故障です。」が鳴ったとき

作動灯(赤)点滅



ピッピッピッ、故障です。
(3回)

約40秒ごとに「ピッピッピッ」

約1時間後

販売店またはご相談窓口にご相談する。

■自動試験機能

けむり当番・ねつ当番は、約1時間ごとに検知部の自動故障診断を行い、故障が発生した警報器で上図のように警報します。



故障状態では煙や熱を検知できないため、火災警報動作をしません。ただし、他の部屋で火災を検知した場合は、故障警報した警報器でも火災警報動作(連動動作)をします。

警報音を止めるには

警報停止ボタンを押す。

→「ピッピッピッ、故障です。」が3回鳴り、メッセージが止まります。

- 作動灯は点滅を続けます。
- 故障のままの状態であった場合は、0(直後)～24時間以内に再び警報が鳴ります。

ご使用前

取付・登録のしかた

警報が鳴る

お知らせ



「ピッ、電池切れです。」が鳴ったとき

作動灯(赤)点滅(約8秒ごと)



ピッ、電池切れです。
(3回)

約40秒ごとに「ピッ」

約1時間後

設置後、10年未満の場合は、販売店に相談し、すみやかに新しい専用リチウム電池(SH384552520)と交換する。

👉 62ページ

設置後、10年以上経過している場合は、製品本体の交換をお勧めします。
(電子部品が劣化し動作しない可能性があります。)

警報が鳴る



- 電池切れ警報は約1週間継続します。
- 電池を抜いたままにしておくと電波異常メッセージが鳴りますので、すみやかに電池交換を行ってください。

警報音を止めるには

警報停止ボタンを押す。

→「ピッ、電池切れです。」が3回鳴り、メッセージが止まります。

- 作動灯は約8秒ごとに点滅を続けます。
- 電池切れのままの状態であった場合は、0(直後)～24時間以内に再び警報が鳴ります。

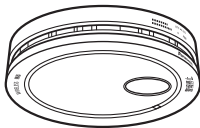


定期点検のしかた

6カ月ごとに1回以上定期点検を行ってください。

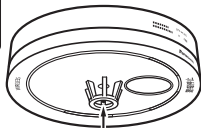
1. 検知部のホコリや汚れを確認する。

けむり
当番



煙検知部(側面凹部全周)

ねつ
当番



熱検知部

ホコリや油などの汚れ、クモの巣が検知部につくと煙や熱を検知しにくくなったり、誤動作の原因となります。

次ページ「お手入れのしかた」にしたがって取ってください。

2. 動作確認をする。👉 42ページ

正常に動作しない場合は 👉 63ページ



故障状態や電池切れ状態などでは煙や熱を検知できないため、火災警報動作をしません。



お手入れのしかた

本体を取りはずしてお手入れしてください。また、取付部付近の天井面・壁面を掃除するときも本体を取りはずしてください。

1. 本体を取りはずす。

2. 汚れやホコリを取る。

- 水または石けん水に布を浸し、よく絞ってから汚れやホコリを取ってください。



- 熱検知部(☞ 54ページ)を触ったり、濡らしたりしないでください。故障の原因となります。
- 内部に水が浸入しないように注意してください。故障の原因となります。
- アルカリ性洗剤・塩素系漂白剤・ベンジン・シンナーおよびアルコールは使わないでください。表面にキズや割れが発生する場合があります。

3. 本体を取付ベースに取り付ける。☞ 38ページ



- 本体の表面がよく乾いてから取り付けてください。
- 検知部に異物(糸くず、水など)が残っていないか確認してください。

4. 動作確認をする。☞ 42ページ



機器交換のお知らせ(約5分ごとに作動灯が4回点滅したとき)

けむり当番・ねつ当番設置後10年以上経過している場合は、作動灯が点滅し機器交換をお知らせします。

**1. 約5分ごとに作動灯(赤)
が4回点滅する。**

**2. 警報停止ボタンを
約1秒間押す。**

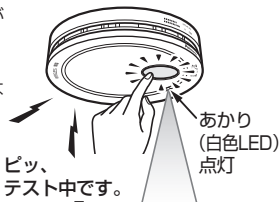


作動灯(赤)4回点滅
(約5分ごとに繰り返す)

➡ 「ピッ、テスト中です。」が数回鳴り、その後、警報器から「ピッピッピッピッ、警報器の交換時期です。」を約1分間お知らせします。

- お知らせ中は、警報器の作動灯が点滅、あかり(白色LED)が点灯します。
- 警報停止ボタンを押す、もしくは約1分経過すると、メッセージは止まります。
- 警報器を交換しない場合は、約1カ月後に再度、作動灯が点滅します。

(1カ月以内に再度警報停止ボタンを押すと、右記の状態になります。)



↓
**ピッピッピッピッ、
警報器の交換時期です。**

3. 設置後10年以上経過しているため、製品本体の交換をお勧めします。

(電子部品が劣化し動作しない可能性があります。)



- 警報器のいずれかで機器交換のお知らせが表示された場合は、電子部品が劣化し動作しない可能性がありますので、同じような時期に設置した親器・子器は、すべて機器交換をお勧めします。
- 特定の子器だけを機器交換する場合は、交換する子器の登録消去が必要です。☞ 60ページ
- 親器を交換する場合は、新しい親器に子器を登録し直してください。



使用を中止・交換する場合(登録消去)

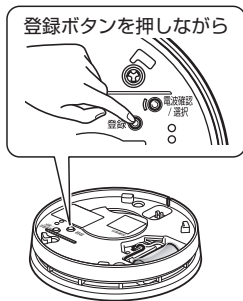
故障したり不要になった子器を使わない場合、その子器の登録は消去する必要があります。消去には「全消去」と「個別消去」の2つの方法があります。



- 確実に登録消去を行うため、故障した際には「全消去」をおすすめします。
- 全く動作しない子器では「個別消去」ができませんので、親器で「全消去」を行ってください。
- 親器を交換する場合は、新しい親器に子器を登録し直してください。(「全消去」は不要です。)

全消去

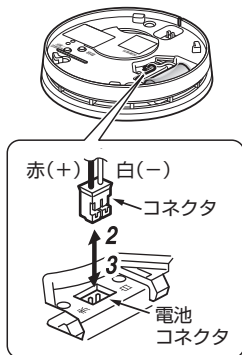
1. 使用していた親器を取りはずす。👉 55ページ
2. 電池コネクタからコネクタを抜く。
3. 登録ボタンを押しながら電池コネクタを差し込む。
「ピー、消去しました。ピッ、未登録です。」が鳴るまで登録ボタンを押し続ける。



- すべての警報器の登録が消去されます。

4. 電池コネクタからコネクタを抜き、電池を抜く。

- 再び使用する場合は、親器に子器を登録(☞32ページ)してください。
- 再登録した場合は、必ず動作確認(☞42ページ)を行ってください。



- 全消去しても子器側の登録は消去されません。使用しない子器の電池は抜いてください。
- 親器の設置場所名称の登録も消去されます。
- AiSEG2またはAiSEG3側の登録は消去されません。AiSEG2またはAiSEG3側で無線機器の登録削除を行ってください。

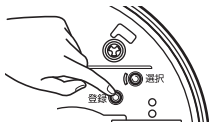


使用を中止・交換する場合(登録消去)(つづき)

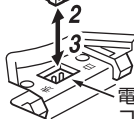
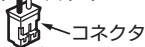
個別消去(使わなくなった子器で操作)

1. 使わなくなった子器を取り
はずす。👉 55ページ
2. 電池コネクタからコネクタ
を抜く。
3. 登録ボタンを押しながら
電池コネクタを差し込む。
[「ピー」音が鳴るまで登録
ボタンを押す。]
●親器と操作した子器から「ピー、
消去しました。」と鳴り、その子
器の登録が消去されます。
4. 電池コネクタからコネクタ
を抜き、電池を抜く。

登録ボタンを押しながら



赤(+) 白(-)



5. 使用する警報器の動作確認をする。☞ 42ページ

- 電波異常警報が鳴る場合は、個別消去が実行されていません。
全消去(☞ 58ページ)を行ってください。

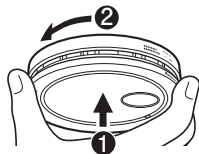


- 個別消去を行う場合は、必ず親器の専用リチウム電池が差し込まれていることを確認してください。
- 「ピー、消去しました。」と鳴るまでにしばらく(最大約25秒)時間がかかる場合があります。
- 個別消去した子器の設置場所名称の登録も消去されます。
- AiSEG2またはAiSEG3の画面に表示される子器の名称も消去されます。ただし、消去されるまでに時間がかかる場合があります。

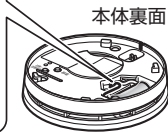
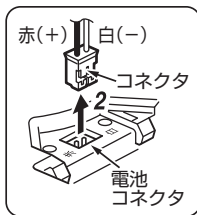


電池交換のしかた

1. 本体を取りはずす。
2. 電池コネクタからコネクタを抜き、電池を抜く。
3. 新しい専用リチウム電池 (SH384552520) を入れる。
👉 30ページ
4. 動作確認をする。
👉 42ページ



押し付けながら左に回す



廃棄について

不要となった親器・子器や交換後の専用リチウム電池は、電池の透明フィルムをはがさず、コネクタ部分に絶縁性のあるテープなどを巻き、各市町村で定められた方法にしたがって廃棄してください。



故障かな？と思ったら

下記の点検・処置をしても異常がある場合は、販売店やご相談窓口にご相談ください。

状 態	点 検	処 置
火災ではないのに火災警報動作をする。 または 火災警報動作が止まらない。	殺虫剤やタバコの煙、調理の煙・蒸気などがけむり当番にかかっていませんか？	室内の換気をしてください。
	検知部や検知部内部にホコリや虫(あるいはクモの巣など)がついていませんか？	検知部のホコリなどを取り除いてください。 👉 12ページ
	近くに調理の熱や蒸気が滞留していませんか？	熱・蒸気などを取り除いてください。
	検知部に煙や熱などが残っていませんか？	検知部の煙や熱をうちわなどであおいで取り除いてください。
	警報停止ボタンが押されたままになっていませんか？ また引きひも(別売)がひっかかっていませんか？	警報停止ボタン、または引きひものひっかかりを直してください。

次ページにつづく

ご使用前

取付・登録のしかた

警報が鳴る

お知らせ



故障かな？と思ったら(つづき)

状 態	点 検	処 置
警報停止ボタンを押しても動作しない。	専用リチウム電池のコネクタがはずれていませんか？	コネクタを差し込んでください。
	専用リチウム電池が切れていませんか？ (電池切れ警報動作) ( 52ページ)をしていた	新しい専用リチウム電池に取り替えてください。  62ページ
	—	警報器が故障しています。 販売店やご相談窓口にご相談ください。

状 態	点 検	処 置
作動灯(赤)が 約8秒ごとに点 滅を繰り返す。	警報停止ボタンを押して 警報音(メッセージ)を 確認してください。	警報音(メッセージ)の 内容によって、以下の 項目を参照してください。 →「ビッピッ、電波が受信 できません。」が鳴った とき  47ページ
作動灯(赤)が 連続点滅する。		→「ビッピッピッ、故障で す。」が鳴ったとき  51ページ
作動灯(赤)が 約5分ごとに 4回点滅を繰り 返す。		→「ビッ、電池切れです。」 が鳴ったとき  52ページ →「ビッピッピッピッ、 警報器の交換時期です。」 が鳴ったとき  56ページ



故障かな？と思ったら(つづき)

状 態	点 検	処 置
「ピッ、未登録です。」 または 「ピッ、子器未登録 です。」と鳴る。	——	親器に子器が登録されて いません。 登録してください。 👉 32ページ
「ピッピッピッ、 しばらくお待ちく ださい。」と鳴る。	——	親器・子器が通信処理中 です。しばらく待ってか ら操作してください。
電池挿入時、 「ピー」音が4秒 周期で鳴り、 作動灯(赤)が 点滅する。※	引きひも(別売)を結んで いませんか？ 👉 2ページ	引きひもが引っかかり、 警報停止ボタンが押され たままになっています。 本体を取付ベースからは ずして引きひもを確認し てください。

※約8秒間経過すると、他の機器から火災警報音が鳴動します。
警報停止ボタンを押して、警報音を止めてください。

警報が同時に発生した場合の優先順位について

- ① 火災警報 ② 故障警報 ③ 電池切れ警報 ④ 電波異常警報

警報時と警報音停止時の動作について

	火元のけむり当番・ねつ当番		連動先のけむり当番・ねつ当番	
	作動灯	警報音	作動灯	警報音
通 常 時	消灯	—	消灯	—
火災警報動作時	早い点滅(※1)	火災警報音	小刻みな点滅(※1)	火災警報音
火元で火災警報音を停止させた場合	消灯	—	消灯	—
連動先で火災警報音を停止させた場合	早い点滅(※1)	火災警報音	消灯(※1)	—
故障警報動作時	早い点滅	故障警報音	連動先は警報動作しません。	
故障警報音停止時	早い点滅	—		
電池切れ警報動作時	遅い点滅	電池切れ警報音		
電池切れ警報停止時	遅い点滅	—		
電波異常警報動作時	遅い点滅	電波異常警報音	遅い点滅	電波異常警報音
電波異常警報停止時	遅い点滅	—	遅い点滅	—

※1：けむり当番の場合のみ、火災警報時にあかり(白色LED)が点灯します。



薄型と一般型を混在して使用する場合

「薄型」のワイヤレス住宅用火災警報器と「一般型」のワイヤレス住宅用火災警報器を組み合わせて使用する場合の登録手順を説明します。



- 親器は1システムに1台しか使用できません。
- 下記の※以外の住宅用火災警報器から設置場所名称(1 33ページ)を鳴らすことはできません。

■組み合わせ可能な住宅用火災警報器

(2025年7月現在)

		一般型		薄型	
けむり 3番	親器	SH22717 SH22417	SH4410	SHK42712K※ SHK42711 SHK42712BK※ SHK32717K SHK42712※ SHK32717 SHK42712B※ SH32717	SHK74102P※ SHK74101P SHK6410KP SHK6410P SH6410P
	子器	SH22427 SH22427Y SH22428	SH4420	SHK42422K※ SHK42421Y SHK42422BK※ SHK32427K SHK42422YK※ SHK32427YK SHK42422※ SHK32427 SHK42422B※ SHK32427Y SHK42422Y※ SH32427 SHK42421 SH32427Y	SHK74202P※ SHK74202YP※ SHK74201P SHK74201YP SHK6420KP SHK6420YKP SHK6420P SHK6420YP SH6420P SH6420YP
ねじ 3番	子器	SH22127	SH4620	SHK42128K※ SHK42127 SHK42128BK※ SHK32127 SHK42128※ SH32127 SHK42128B※	SHK76203P※ SHK7620P SHK6620P SH6620P

■子器の登録台数

親器の品番		子器の登録台数
SHK42712K※ SHK42712BK※ SHK42712※ SHK42712B※ SHK42711 SHK32717K SHK32717 SH32717 SH22717	SHK74102P※ SHK74101P SHK6410KP SHK6410P SH6410P	14台まで
SH22417	SH4410	7台まで



薄型と一般型を混在して使用する場合(つづき)

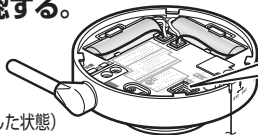
親器が **薄型** の場合の登録手順

1. **一般型** 子器の周波数チャンネルが「CH.1」になっていることを確認する。

一般型 子器

裏面

(取付ベースをはずした状態)



周波数チャンネル

- CH.1
- (出荷時)

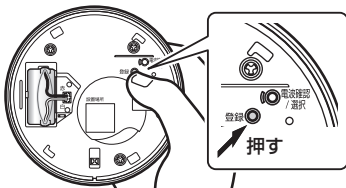


- 「CH.1」以外の周波数チャンネルでは動作しません。
- 「CH.1」以外で使用している場合は、すべての子器の周波数チャンネルを「CH.1」に変更してください。

2. **薄型** 親器の登録
ボタンを押しながら



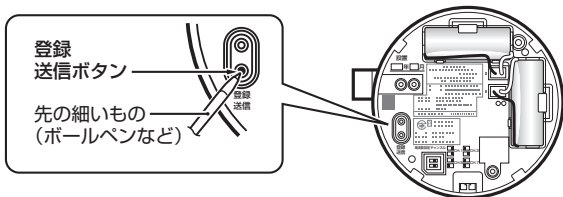
登録ボタンは手順4まで
押し続けてください。



薄型 裏面(取付ベースをはずした状態)

3. **一般型** 子器の登録送信ボタンを「ピッ」音が鳴るまで長押しする(4秒以上)。

- 子器から「ピッ」音が鳴り、約4秒後、親器から「ピッ、登録しました。子器○台です。」(○：登録台数)が鳴り、子器が登録されます。



4. **薄型** 親器の登録ボタンを離す。



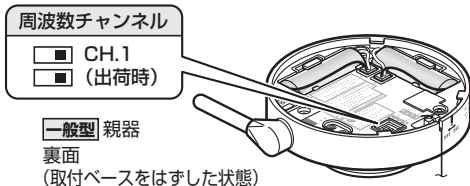
親器と登録した子器は必ず使用してください。
(使用しない親器や子器があると、電波異常警報が鳴ります。)



薄型と一般型を混在して使用する場合(つづき)

親器が一般型の場合の登録手順

1. 一般型親器の周波数チャンネルが「CH.1」になっていることを確認する。



- 「CH.1」以外の周波数チャンネルでは動作しません。
- 「CH.1」以外で使用している場合は、親器とすべての子器の周波数チャンネルを「CH.1」に変更してください。

2. **一般型** 親器のモード切替ボタンを1回(約0.5秒程度)押す。

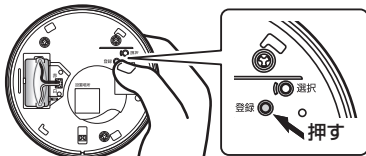
- 親器から「ボン、登録モードです。」と鳴り、作動灯(赤)が点滅します。



注 操作しない状態が1分以上続くと、「動作モード」に戻り、登録できません。

3. **薄型** 子器の登録ボタンを押す。

- 子器から「ピッ」音が鳴り、親器から「ピッ、登録しました。」が鳴り、子器が登録されます。



薄型 けむり当番子器

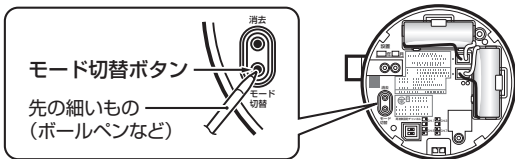
裏面(取付ベースをはずした状態)



薄型と一般型を混在して使用する場合(つづき)

4. 一般型 親器のモード切替ボタンを2回押す。

- 1回押すと「消去モード」、2回押すと「動作モード」に切り替わります。
- 親器から「ボン、動作モードです。」と鳴り、作動灯が消灯します。
- 操作しなくても約1分後に「動作モード」に戻ります。



親器と登録した子器は必ず使用してください。
(使用しない親器や子器があると、電波異常警報が鳴ります。)

登録の消去方法

登録の消去は、「親器」で行います。
親器に付属の説明書にしたがって操作してください。



- 親器が**薄型**の場合、**一般型**の子器では「個別消去」はできません。
- 親器が**一般型**の場合、「個別消去」はできません。



ワイレス連動型住宅用火災警報器のQ&A

Q けむり当番、ねつ当番は混在させて使用できますか？

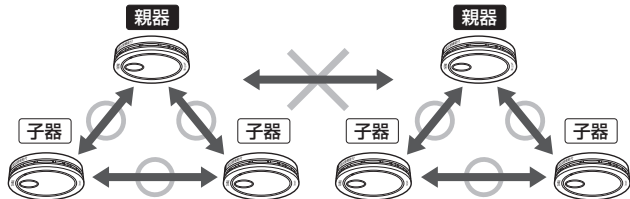
A できます。

Q 子器が火災を検知しても連動して警報しますか？

A 親器・子器にかかわらず、火災を検知するとすべての警報器が連動して警報します。

Q 親器を2台使用して連動させることはできますか？

A できません。1システムに親器1台、子器は14台までです。
親器を2台以上使用しても連動しません。



次ページにつづく

ご使用前

取付・登録のしかた

警報が鳴る

お知らせ



ワイヤレス連動型住宅用火災警報器のQ&A(つづき)

Q 設置した後に子器を追加(増設)できますか？

A できます。設置可能台数(子器は14台まで)の範囲内であれば追加可能です。ご使用前に追加する子器を親器に登録し(☞32ページ)、電波が届くことを確認(☞34ページ)してください。

Q ワイヤレス中継器は使用できますか？

A 使用できません。ワイヤレス連動型用の中継器はありませんので、電波が届きにくい場合、親器をすべての警報器の中央になるように配置してください。

Q 隣家にも設置してある場合、混信しませんか？

A 混信しません。使用前に親器・子器間で固有のID登録(連動の登録)を行いますので、隣家と混信することはありません。

Q 「母屋」と「離れ」や別棟の2世帯住宅で連動させたいのですが使用できますか？

A 使用できますが、以下の2点にご注意ください。

- 電波確認(☞34ページ)を実施し、母屋～離れで電波が届くことを確認してください。
- 警報停止は、必ず母屋と離れ双方の安全を確認してから行ってください。

Q アパートなどの共同住宅で、他住戸と連動させて使用できますか？

A 使用しないでください。理由は以下の通りです。

アパートなどの共同住宅の例

複数の住戸を1システムで連動させると、火災発生時、連動先の住戸で警報を止めたときに、連動先のすべての住戸の警報が止まってしまいます。(個々の住戸内で連動するようにしてお使いいただく場合は問題ありません。)

■AiSEG2またはAiSEG3使用時

Q 住宅用火災警報器を設置した後に、AiSEG2またはAiSEG3と連動できますか？ また既設されたAiSEG2またはAiSEG3に、住宅用火災警報器を登録できますか？

A どちらの場合も設置可能です。AiSEG2またはAiSEG3は1台、子器は14台まで設置可能です。「連携操作ガイド」(P.8ページ)にしたがって、AiSEG2またはAiSEG3に親器を登録してください。

Q セキュリティ受信器(ECD1101・ECD5101)とAiSEG2またはAiSEG3の両方に親器を登録できますか？

A 登録できません。どちらか1システムのみ登録可能です。登録すると、「ピッ、他の機器が登録されているため、登録できません。設定モードを終了します。(※)」と鳴ります。
※：「設定モードを終了します。」はセキュリティ受信器に親器を登録している場合のみ、鳴ります。



仕様

品 番	品 名
SHK42712K	けむり当番薄型2種(電池式・ワイヤレス連動親器・あかり付) (警報音・音声警報・AiSEG連携機能付)
SHK42712BK	けむり当番薄型2種(電池式・ワイヤレス連動親器・あかり付) (警報音・音声警報・AiSEG連携機能付)(ブラック)
SHK42422K	けむり当番薄型2種(電池式・ワイヤレス連動子器・あかり付) (警報音・音声警報・AiSEG連携機能付)
SHK42422BK	けむり当番薄型2種(電池式・ワイヤレス連動子器・あかり付) (警報音・音声警報・AiSEG連携機能付)(ブラック)
SHK42422YK	けむり当番薄型2種(電池式・ワイヤレス連動子器・あかり付) (警報音・音声警報・AiSEG連携機能付)(和室色)
SHK42128K	ねつ当番薄型定温式(電池式・ワイヤレス連動子器) (警報音・音声警報・AiSEG連携機能付)
SHK42128BK	ねつ当番薄型定温式(電池式・ワイヤレス連動子器) (警報音・音声警報・AiSEG連携機能付)(ブラック)

種 別	けむり当番(SHK42712K・SHK42712BK・SHK42422K・ SHK42422BK・SHK42422YK) 光電式住宅用防災警報器
	ねつ当番(SHK42128K・SHK42128BK) 定温式住宅用防災警報器

型 式		けむり当番(SHK42712K・SHK42712BK・SHK42422K・SHK42422BK・SHK42422YK) 電池方式、2種(DC3 V、350 mA)、無線式、連動型、自動試験機能付 ねつ当番(SHK42128K・SHK42128BK) 電池方式(DC3 V、300 mA)、無線式、連動型、自動試験機能付
使 用 電 池		専用リチウム電池 SH384552520(3 V)
電 池 寿 命		約10年(※1)
警報音・音声警報	火 災 警 報 時	火 元：プュー、プュー、火事です。火事です。 連動先：プュー、プュー、他の部屋で火事です。(出荷時設定)
	電池切れ警報時	「ピッ、電池切れです。」が3回鳴動し、その後約40秒ごとに「ピッ」が鳴動
	故 障 警 報 時	「ピッピッピッ、故障です。」が3回鳴動し、その後約40秒ごとに「ピッピッピッ」が鳴動
	電波異常警報時	「ピッピッ、電波が受信できません。」が3回鳴動し、その後約40秒ごとに「ピッピッ」が鳴動
	機 器 交 換 お 知 ら せ 時	「ピッピッピッピッ、警報器の交換時期です。」 ただし、作動灯(赤)4回点滅(約5分ごとに繰り返し)時に警報 停止ボタンを押した場合
火災警報音量		1 mにて70 dB以上(検定基準)

※1：お客様のご使用環境により短くなる場合があります。また、セキュリティ受信器(ECD1101・ECD5101)と組み合わせて使用した場合の電池寿命は、親器約8年、子器約10年となります。



仕様(つづき)

親器 ～ 子器	使用周波数	親器(SHK42712K・SHK42712BK) 426.6625/426.6875/426.7625 MHzの3波 子器(SHK42422K・SHK42422BK・SHK42422YK・ SHK42128K・SHK42128BK) 426.6625/426.6875 MHzの2波
	送信出力	10 mW $+20\%$ -50%
	電波の到達距離 (使用場所の環境に より短くなります。)	障害物のない場所での水平見通し距離約100 m (※2)
親器 ～ AiSEE 23	使用周波数 (周波数は自動設定)	923.7 MHz～927.7 MHz *全11波中の1波を使用
	送信出力	13 mW $+20\%$ -50%
	電波の到達距離 (使用場所の環境に より短くなります。)	障害物のない場所での水平見通し距離約100 m
寸 法		けむり当番(SHK42712K・SHK42712BK・SHK42422K・ SHK42422BK・SHK42422YK) 約φ100 mm×約25 mm(取付ベース含む)
		ねつ当番(SHK42128K・SHK42128BK) 約φ100 mm×約36 mm(取付ベース含む)
質 量		けむり当番(SHK42712K・SHK42712BK・SHK42422K・ SHK42422BK・SHK42422YK) 約115 g(専用リチウム電池含む)
		ねつ当番(SHK42128K・SHK42128BK) 約105 g(専用リチウム電池含む)
使用周囲温度		0℃～+40℃
設置場所		天井面・壁面



保証とアフターサービス

よくお読みください

使いかた・お手入れ・修理などは…

■まず、お買い求め先へご相談ください。

お買い上げの際に記入されると便利です。

販売店名

電 話 () -

お買い上げ日 年 月 日

修理を依頼されるときは…

「故障かな?と思ったら」(☞63～66 ページ)でご確認のあと、直らないときはお買い上げ日と下の内容をご連絡ください。

●製品名 住宅用火災警報器

●品 番

●故障の状況 できるだけ具体的に

●保証期間中は、保証書の規定にしたがって出張修理いたします。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合は、ご要望により修理させていただきます。

修理料金は次の内容で構成されています。

【技術料】診断・修理・調整・点検などの費用

【部品代】部品および補助材料代

【出張料】技術者を派遣する費用

●補修用性能部品の保有期間 **7年**

当社は、この住宅用火災警報器の補修用性能部品(製品の機能を維持するための部品)を、製造打ち切り後7年保有しています。

ご使用前

取付・登録のしかた

警報が鳴る

お知らせ



保証とアフターサービス(つづき)

■相談先がなくお困りの場合は、次のご相談窓口にご連絡ください。



商品のお問い合わせは

電設資材商品ご相談窓口

【受付時間】月～土 / 9:00～18:00 (祝日・三が日を除く)

個人のお客様 **0120-878-082**

●上記番号がご利用いただけない場合は…

06-6780-2551

※携帯電話から
もご利用に
なれます。



法人のお客様 **0120-187-431**

●上記番号がご利用いただけない場合は…

06-6904-4574

●FAX…  **0120-872-460**

<https://sumai.panasonic.jp/support/>



Help desk for foreign residents in Japan Tokyo (03) 3256-5444 Osaka (06) 6645-8787
Open: 9:00 – 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくための発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。



修理のご用命は

修理ご相談窓口 ※インターネットでのご依頼も可能です。

【受付時間】月～土 / 9:00～19:00 日・祝日・年末年始 / 9:00～18:00

パナニ イコー ※携帯電話からもご利用になれます。



0120-872-150

●上記番号がご利用いただけない場合は…

06-6906-1090

<https://sumai.panasonic.jp/support/repair/>



消耗品・交換部品・後付パーツのご用命は

ハイ・パーツショップ 一般のお客様用

【受付時間】月～金 / 9:00～18:00 土・日・祝日 / 9:00～17:00

ゴーゴー パーツ ※携帯電話からもご利用になれます。



0120-055-802

●上記番号がご利用いただけない場合は…

06-6906-1224

- GW休暇・夏季休業・年末年始はお休みまたは受付時間を変更させていただきます。
- ビジネスのお客様はお取引先の販売ルートへお問い合わせください。

<https://sumai.panasonic.jp/parts/>



※ご使用の回線(IP電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

※上記のURLはお使いの携帯電話などにより、正しく表示されない場合があります。

ご使用前

取付・登録のしかた

警報が鳴る

お知らせ

〈無料修理規定〉

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
 - (イ) 無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店にお申しつけください。
 - (ロ) お買い上げの販売店に無料修理をご依頼になれない場合には、修理ご相談窓口にご連絡ください。
 - (ハ) この商品は出張修理をさせていただきますので、修理に際し本書をご提示ください。
2. ご転居の場合の修理ご依頼先などは、お買い上げの販売店または修理ご相談窓口にご相談ください。
3. ご贈答品などで本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けにならない場合には、修理ご相談窓口にご連絡ください。
4. 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
 - (イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
 - (ロ) お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷
 - (ニ) 車両、船舶などに搭載された場合に生ずる故障及び損傷
 - (ホ) 一般家庭用以外に使用された場合の故障及び損傷
 - (ヘ) 本書のご提示がない場合
 - (ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
 - (チ) 離島または離島に準じる遠隔地へ出張修理を行う場合の出張に要する実費

- 5.本書は日本国内においてのみ有効です。
- 6.本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
- 7.修理ご相談窓口は、取扱説明書の保証とアフターサービス欄をご参照ください。

修理メモ

- ※お客様にご記入いただいた個人情報(保証書控)は、保証期間内の無料修理対応及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。
- ※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって、保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または修理ご相談窓口にお問い合わせください。
- ※保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については、取扱説明書をご覧ください。
- ※This warranty is valid only in Japan.

Panasonic

出張修理

けむり当番・ねつ当番保証書

本書はお買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合には無料修理規定の記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。ご記入いただきました個人情報の利用目的は無料修理規定に記載しております。お客様の個人情報に関するお問い合わせは、お買い上げの販売店にご連絡ください。詳細は84・85ページの無料修理規定をご参照ください。

※ 品番	
保証期間	お買い上げ日から 本体 1年間
※ お買い上げ日	年 月 日

ご販売店様へ ※印欄は必ず記入してお渡してください。

※ お客様	ご住所 _____ お名前 _____ 電 話 () _____
※ 販売店	住所・販売店名 _____ 電話 () _____

パナソニック株式会社 ソリューション事業統括部

〒571-8686 大阪府門真市門真1048番地 TEL 06-6908-1131

ご販売店様へ ※印欄は必ず記入してお渡しく下さい。

パナソニック株式会社 ソリューション事業統括部

〒105-8301 東京都港区東新橋1丁目5番1号

© Panasonic Corporation 2025